

# NO! リニア

No. 104  
2018年6月21日  
JR東海労働組合

## リニアが開通すると、ひかり・こだまが増発!? それは本当か? 騙されないぞ!

静岡県内の新幹線駅に「リニア中央新幹線の開業に向けて」と題する会社発行の掲示物が掲出されています（他都府県には掲出されていない模様）。掲示には「ひかり」「こだま」が増え、静岡県からの移動が便利になります、と書かれています。

現在、JR東海と静岡県との間で、大井川の水問題は解決されていません。静岡県民にとっては死活問題で、リニア中央新幹線建設に反対する住民が多くいます。また、川勝県知事が協定書の締結に難色を示しています。リニア中央新幹線ができて、静岡県にとっては何らメリットはありません。逆に水源枯渇のリスクというデメリットが大きいのです。

そこでJR東海が考えたのが、東海道新幹線の「ひかり」「こだま」の増発ではないでしょうか。言わばエサです。JR東海としてみれば、静岡県民を味方に付けたいという想いがあるのではないかと推測できます。

会社はこの間、「ひかり」「こだま」の増発は一言も言っていません。逆に「のぞみ」の廃止は明言しました（その後反発があり撤回）。リニアに流れがシフトするため、「のぞみ」が減便になることは間違いありません。ダイヤ上、余裕ができるだけのことです。

掲示のイラストを見ると、さぞかし「のぞみ」の減便の数だけ「ひかり」「こだま」が増発するようなイメージです（写真赤枠）。時間帯によっては増発は有り得るでしょう。リニア中央新幹線は赤字路線で、その補填は東海道新幹線だとしています。ムダな経費はかけない、つまりムダな増発はしないと考えるべきではないでしょうか。JR東海労は、JR東海のキャッチフレーズに騙されません。

